

[EWE 先輩からのメッセージ]

日本の情報通信を 高い視点で守る



大臣官房企画課 木村 優一

基幹理工学研究科電子物理システム学専攻
宇高研究室 2017 年 3 月修了

安定した職場で、ぎりぎりを攻める

皆さんは、何を基準に今後 40 年以上務めるかもしれない仕事を選びますか。私は次の 4 つを柱に就活をしていました。

- ① 興味がある分野
- ② 給与、リストラ等の面で高い安定性
- ③ 競争より協力
- ④ 自分の人柄と似た人が多い職場

総務省は、①通信・放送分野を軸としつつ AI、セキュリティ、研究開発などの最先端に触れられ、②給与が下がることもリストラの心配がなく、③安定した職場だからこそ何も恐れず、誰かのために法律や予算の範囲内でぎりぎりまで成果を追いつめることができ、④達成感を分かち合える仲間が多い、ということインターンや説明会で確信し、入省を決意しました。

総務省と民間企業の最大の違いは、企業の利益や出世のためでなく、純粋に世の中をよくするために、最先端の通信技術を活用でき、数年に 1 度異動しながら自分だけのキャリアを積めることです。そういった環境で仕事をしてみたい人は是非、説明会やインターンにご参加ください。

文部科学省（現在出向中） 内田 寛武

基幹理工学部情報理工学科
鷺崎研究室 2020 年 3 月修了

社会基盤としての情報通信

大学で学んだ情報工学の知識を活かして社会に広く貢献できる仕事がしたいと考え、総務省に入省しました。これまでのキャリアでは、総務省だけでなく、現在出向している文部科学省や以前出向していた外務省でも、情報通信を軸とした政策づくりに携わってきました。その中で、情報通信が社会の基盤として果たす役割の大きさを日々実感しています。

総務省では、国内外の様々な課題に対して、情報通信の視点から柔軟に考え、学びながら取り組む姿勢が求められます。新しいことに興味を持ち、挑戦し続けたい方にとっては非常に魅力的だと思います。技術や知識を通じて社会をより良くしたいという思いがあるなら、国家公務員としてその一歩を踏み出してみるのも、面白い経験になるのではないのでしょうか。

国際戦略局通信規格課 伊藤 有希

基幹理工学研究科情報理工・情報通信専攻
前原研究室 2021 年 3 月修了

総務省を選んだ理由・国際標準化について

情報通信・放送の基盤整備、利活用の推進、国際展開等、様々な業務を通じて広く社会に貢献できる点に魅力を感じて総務省へ入省しました。

現在私は、国際標準化に関する業務を主に担当しています。国際標準化は、情報通信分野において相互接続のために重要であり、さらに、研究開発した技術を社会実装、海外展開していくために非常に有効となります。

私の所属する通信規格課では、国際標準化会合への我が国主管庁としての対応や、民間企業・大学等による標準化活動の支援、標準化人材の育成プログラムの作成等を実施しており、どれもとてもやりがいのある仕事と感じています。